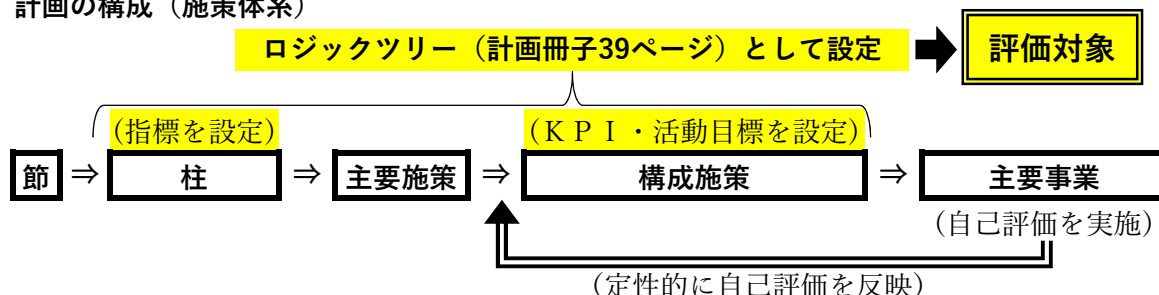


かながわ高齢者保健福祉計画（第9期：令和6～8年度）
評価方法について（たたき台）

第8期計画と同様、第9期計画についても、本計画の効果的かつ効率的な推進に資するため、掲げる施策・事業の評価を実施する。計画の初年度及び2年度目には、計画の進捗状況の評価し、計画期間が終了した後、3年間の実績について最終評価を行う。

1 計画の構成（施策体系）



2 計画の評価方法

(1) 計画の初年度（令和6年度）及び2年度目（令和7年度）における進捗状況の評価

ア 評価の流れ

事業所管課 ① 前年度の取組状況を点検し、自己評価する。



高齢福祉課 <ロジックツリーに設定した項目を基に評価>

（事務局） ② 主要施策単位で「KPI・活動目標」を基にランク付けを行い、「主要事業の自己評価結果」を補完的に反映させ、評価を整理する。

③ 柱単位で「指標」を基に施策別評価を行い、「主要施策のランク付け・評価」を補完的に反映させ、計画の進捗状況进行评估する。



計画評価 ④ 外部評価として施策の有効性や効率性などをふまえ、計画の進捗状況
 部会 について、柱単位で文章表現による総合評価を行う。

イ 評価区分【ランク付け・施策別評価】

区分	評価の基準	【参考】第8期計画
A	目標を概ね達成しており、順調に進捗している。 （目安：目標に対して、90%以上の実績）	順調に進捗している（年度計画に対して100%以上の実績）
B	目標まで届いていないが、達成に向けて取組は進捗している。 （目安：目標に対して、70%以上の実績）	おおむね順調に進捗している（年度計画に対して80%以上100%未満の実績）
C	達成に向けた取組は進捗していない。 （目安：目標に対して、50%以上の実績）	やや進捗が遅れている（年度計画に対して60%以上80%未満の実績）
D	進捗に課題があり、達成に向けて更なる取組強化や見直し等が必要である。 （目安：目標に対して、50%未満の実績）	進捗について課題がある（年度計画に対して60%未満の実績）

(2) 計画の最終度（令和8年度）における最終評価

ア 評価の流れ

事業所管課 ① 3年間の取組結果を自己評価する。



高齢福祉課 <ロジックツリーに設定した項目を基に評価>

(事務局) ② 主要施策単位で「K P I・活動目標」を基にランク付けを行い、「主要事業の自己評価結果」を補完的に反映させ、評価を整理する。

③ 柱単位で「指標」を基に施策別評価を行い、「主要施策のランク付け・評価」を補完的に反映させ、計画の取組結果を評価する。

計画評価 ④ 外部評価として施策の有効性や効率性などをふまえ、計画の取組結果
部会 について、柱単位で文章表現による総合評価を行う。

イ 評価区分【ランク付け・施策別評価】

区分	評価の基準	【参考】第8期計画
A	目標を概ね達成した。 (目安：目標に対して、90%以上の実績)	目標を達成した (達成率 100%以上)
B	目標まで届いていないが、着実に取組を推進し、 目的は達成した。 (目安：目標に対して、70%以上の実績)	目標をほぼ達成した (達成率 80%以上 100%未満)
C	目標達成が十分でなかった。 (目安：目標に対して、50%以上の実績)	目標をある程度達成した (達成率 60%以上 80%未満)
D	目的が達成できず、取組の更なる強化や見直し が必要である。 (目安：目標に対して、50%未満の実績)	目標達成が十分ではなかった (達成率 60%未満)